

シンガポール航空

堅調な月次データから 2016/3 期 3Q の業績拡大に期待したい

シンガポール | 輸送 | 業績プレビュー

BLOOMBERG SIA:SP | REUTERS SIAL.SI

- 2016/3 期 2Q (2015/7-9) は売上高が前年同期比 1.5%減の 38.4 億 SGD、純利益は同約 2.3 倍の 2.1 億 SGD となった。
- 親会社のシンガポール航空 (SIA) の営業利益は前年同期比 29.0%減となったが、SIA エンジニアリングや格安航空会社 (LCC) のシルクエアは大幅増益となった。
- 2016/3 通期の市場予想は売上高が前期比 0.6%減の 154.8 億 SGD、純利益は同 89.1%増の 7.0 億 SGD である。

What is the news?

2016/3 期 2Q は売上高が前年同期比 1.5%減の 38.4 億 SGD、営業利益が同 2.4%減の 1.3 億 SGD、純利益は同約 2.3 倍の 2.1 億 SGD となった。前年同期に LCC のタイガー航空の子会社化で損失を計上していたため、今期は大幅増益となった。原油安による燃料価格の押し下げ効果を楽しんでいるが、値下げ競争が激化し本業は厳しく減収となった。親会社の SIA の旅客単価は前年同期比 4.6%下落。

グループ企業別の営業利益をみると、SIA は同 29.0%減益となったものの、SIA エンジニアリングは同 68.8%増益、LCC のシルクエアは同 7 倍と大幅増益となった一方、SIA カーゴ及び LCC のスクートは赤字幅を前年同期から大幅に縮小した。

同社グループの 2015/12 の月次データでは、旅客数が前年同期比 3.5%増、旅客キロ数が同 2.1%増、座席利用率は同 0.3 ポイント上昇するなどコア指標が堅調に伸びており、2016/3 期 3Q (2015/10-12) の業績拡大に期待できる状況にある。

How do we view this?

同社の 2016/3 期 2H (2015/10-2016/3) の見通しは、貨物及び旅客の伸びを慎重にみている。2015/10-11 の旅客予約状況は販促もあって良好である。燃油価格は想定レンジ内で推移しており、数量ベースで 50.7%をグループ全体でヘッジしており、平均価格は 93USD/バレルである。ドルの上昇によるコスト上昇は懸念材料であるが、コストや航空機活用についてのコントロールなどにより対応していく。強固なバランスシートを背景に競争力を高め、戦略的に航空業界での主導権を握っていく意向である。2016/3 通期の市場予想は売上高が前期比 0.6%減の 154.8 億 SGD、純利益は同 89.1%増の 7.0 億 SGD である。

業績推移

※参考レート 1SGD=82.85円

事業年度	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3F	2017/3F
売上高(百万SGD)	15,098	15,244	15,566	15,475	15,746
純利益(百万SGD)	379	360	368	696	911
EPS(SGD)	0.28	0.25	0.26	0.60	0.80
PER(倍)	39.00	43.68	42.00	18.20	13.65
BPS(SGD)	11.14	11.26	10.66	10.95	11.43
PBR(倍)	0.98	0.97	1.02	1.00	0.96
配当(SGD)	0.23	0.21	0.22	0.35	0.45
配当利回り(%)	0.02	0.02	0.02	0.03	0.04

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

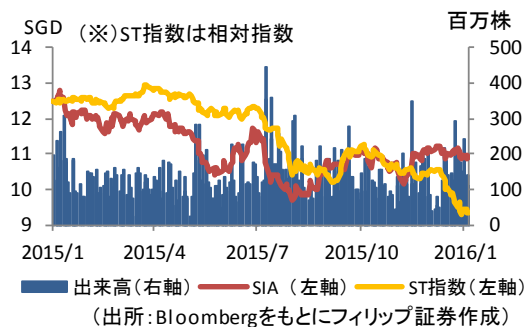
配当予想(SGD) 0.35 (予想はBloomberg)
終値(SGD) 10.92 2016/1/27

会社概要

アジアのリーディング航空会社として、航空輸送をはじめ、エンジニアリング、空港運営、パイロットのトレーニング、チャーター、ツアー販売に従事しており、アジア・欧州・米国・南西太平洋・アフリカ地域に運航している。

企業データ(2016/1/27)

ベータ値 0.73
時価総額(百万SGD) 12,705
企業価値=EV(百万SGD) 9,538
3ヵ月平均売買代金 14.23



主要株主(2016/1)

1.Temasek Holdings (Pte) Ltd 56.50
2.BlackRock 1.24
3.Dimensional Fund Advisors LP 0.81

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

袁鳴
ming.yuan@phillip.co.jp
+81 3 3666 0707
庵原 浩樹
hiroki.ihara@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

2016年1月28日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 袁 鳴

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。